



# 平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年7月23日

上場取引所 東

上場会社名 パナソニック インフォメーションシステムズ株式会社

コード番号 4283 URL <http://is-c.panasonic.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 前川 一博

問合せ先責任者 (役職名) 取締役

(氏名) 吉川 達夫

TEL 06-6906-2801

四半期報告書提出予定日 未定

配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成28年3月期第1四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年6月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	9,305	14.9	757	39.3	767	37.6	503	40.2
27年3月期第1四半期	8,102	△2.5	543	△56.8	557	△55.9	359	△54.5

(注) 包括利益 28年3月期第1四半期 608百万円 (20.3%) 27年3月期第1四半期 505百万円 (△36.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
28年3月期第1四半期	47.23	—
27年3月期第1四半期	33.70	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
28年3月期第1四半期	34,566	28,458	82.3	2,670.74
27年3月期	36,964	28,196	76.3	2,646.15

(参考) 自己資本 28年3月期第1四半期 28,458百万円 27年3月期 28,196百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
27年3月期	—	32.50	—	32.50	65.00
28年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	—	—

当社は、平成27年6月19日開催の当社定時株主総会において、平成27年8月1日を効力発生日として、パナソニック株式会社を株式交換完全親会社、当社を株式交換完全子会社とする株式交換契約を承認可決しており、これにより、平成27年7月29日をもって上場廃止となるため、配当予想の公表を控えさせていただきます。

## 3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
第2四半期(累計)	18,100	4.3	2,000	14.5	2,000	12.9	1,200	6.7	112.62
通期	—	—	—	—	—	—	—	—	—

当社は、平成27年6月19日開催の当社定時株主総会において、平成27年8月1日を効力発生日として、パナソニック株式会社を株式交換完全親会社、当社を株式交換完全子会社とする株式交換契約を承認可決しており、これにより、平成27年7月29日をもって上場廃止となるため、通期連結業績予想の公表を控えさせていただきます。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期1Q	10,656,000 株	27年3月期	10,656,000 株
② 期末自己株式数	28年3月期1Q	372 株	27年3月期	372 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期1Q	10,655,628 株	27年3月期1Q	10,655,628 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は実施していません。当社は、平成27年7月29日をもって上場廃止となるため、四半期報告書の提出の予定はありません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている将来の業績に関する見通しならびに計画、戦略、目標などは、当社が現在入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいております。予想に内在する不確定要因やこの後の事業運営における内外の状況変化等により、実際の業績は見通しと異なる場合があります。業績予想の利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)P.4「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	P. 2
(1) 経営成績に関する説明 .....	P. 2
(2) 財政状態に関する説明 .....	P. 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	P. 4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	P. 5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	P. 5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	P. 5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	P. 5
3. 四半期連結財務諸表 .....	P. 6
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	P. 6
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書 .....	P. 8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	P. 9
(継続企業の前提に関する注記) .....	P. 9
(セグメント情報等) .....	P. 9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	P. 9
4. その他 .....	P. 10
(1) 受注残高 .....	P. 10
(2) 販売実績 .....	P. 10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期（平成27年4月1日～平成27年6月30日）におけるわが国経済は、円安の進行、原油安や海外からの観光客の増加などの影響により企業の業況感が幅広く改善するなど、緩やかな回復が続きました。

また、大企業・製造業を中心に設備投資意欲は回復基調にあり、成長に向けたIT投資も増加する傾向にあります。

このような事業環境のなかで当社グループは、平成25年度を初年度とする中期経営計画の最終年度となる当期において「一般市場でのビジネス強化」「パナソニックグループとのパートナーシップ強化」「経営体質の強化」の3テーマに取り組んでおります。

①当第1四半期における当社グループの経営成績

	前第1四半期		当第1四半期		比較増減 (%)
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	
売上高	8,102	100.0	9,305	100.0	14.9
営業利益	543	6.7	757	8.1	39.3
経常利益	557	6.9	767	8.2	37.6
親会社に帰属する 四半期純利益	359	4.4	503	5.4	40.2

当第1四半期におきましては、中期経営計画達成に向け、一般市場のお客さまへの拡販と、パナソニックグループにおけるパートナーシップ構築・強化に取り組まれました。また、コスト抑制や業務効率化など、経営体質の改善についても継続的に推進いたしました。

その結果、売上高は、一般市場でのクラウドサービス売上拡大や、パナソニックグループにおける新規システム開発案件の進捗などにより増収となりました。一方、利益につきましては、合理化・効率化の取り組み等により、大幅な増益となりました。

②当第1四半期における取り扱い品目別の状況

	前第1四半期		当第1四半期		売上高 比較増減 (%)	売上高 総利益率 ポイント 差異
	売上高 (百万円)	売上高 総利益率 (%)	売上高 (百万円)	売上高 総利益率 (%)		
a. システムサービス	5,716	17.6	6,025	18.7	5.4	1.1
b. システムソリューション	2,386	15.0	3,280	15.9	37.5	0.9
合計	8,102	16.8	9,305	17.7	14.9	0.9

a. システムサービス

売上高は60億2千5百万円（前年同期比5.4%増）、売上高総利益率は18.7%（前年同期は17.6%）となりました。

既存顧客に対するサービス提供価格の下落はあったものの、一般市場におけるクラウドサービスや、パナソニックグループにおける新規運用案件の増加などから、売上高・売上高総利益率ともに前年同期を上回りました。

b. システムソリューション

売上高は32億8千万円（前年同期比37.5%増）、売上高総利益率は15.9%（前年同期は15.0%）となりました。

当第1四半期は、一般市場における主なシステム構築案件として、大手金融業向け海外システム構築案件や官公庁向けコールセンターシステム構築案件などに取り組みました。一方、パナソニックグループにおいても新規システムやインフラ等の開発プロジェクトがスタートいたしました。

その結果、売上高は前年同期を大幅に上回り、利益につきましても増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債、純資産の状況

当第1四半期末の資産は前連結会計年度末に比べ23億9千8百万円減少し（前期末比6.5%減）、345億6千6百万円となりました。

a. 流動資産

パナソニック株式会社などへの預け金を15億1千6百万円積み増したのに対して、期末月の売上減少により受取手形及び売掛金が48億9千7百万円減少したことなどから、前連結会計年度末に比べ25億5千5百万円減少し（前期末比8.2%減）、284億5千3百万円となりました。

b. 固定資産

ハードウェア投資の増加などにより、前連結会計年度末に比べ1億5千7百万円増加し（前期末比2.6%増）、61億1千3百万円となりました。

c. 流動負債

仕入債務・設備買入債務が決済されるなど、支払手形及び買掛金が16億3百万円、未払金が9億7千万円減少したことなどから、前連結会計年度末に比べ25億6千万円減少し（前期末比32.3%減）、53億6千9百万円となりました。

d. 固定負債

退職給付に係る負債の減少などにより、前連結会計年度末に比べ9千9百万円減少し（前期末比11.9%減）、7億3千9百万円となりました。

e. 純資産

四半期純利益を5億3百万円計上したのに対して、前期末配当金3億4千6百万円の支払いを行ったことなどにより、前連結会計年度末に比べ2億6千1百万円増加し（前期末比0.9%増）、284億5千8百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社とパナソニック株式会社は平成27年2月3日、両社の取締役会にて、パナソニック株式会社を株式交換完全親会社とし、当社を株式交換完全子会社とする株式交換（以下、「本株式交換」といいます。）を行うことを決議し、同日付で両社間において株式交換契約を締結いたしました。本株式交換は、平成27年6月19日開催の当社定時株主総会にて承認を受けましたので、平成27年8月1日を株式交換の効力発生日とする予定であります。これにより、当社株式は本株式交換の効力発生日に先立ち、平成27年7月29日付で上場廃止（最終売買日は平成27年7月28日）となる予定です。

また、本株式交換による当社の完全子会社化を前提として、平成27年10月を目途にパナソニック株式会社コーポレート情報システム社の事業を当社が譲受することについても協議を開始しております。

以上の状況を踏まえ、平成28年3月期（平成27年4月1日～平成28年3月31日）の通期の連結業績予想の公表は控えさせていただきます。

見通しに関するリスク情報

業績見通しは、現在入手可能な情報と、当社が現時点で合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は見通しと大きく異なることがあります。その要因のうち、主なものは以下のとおりですが、これらに限られるものではありません。リスク、不確実性及びその他の要因は、当社の有価証券報告書にも記載されておりますので、ご参照ください。

- ・ 日本市場の経済状況及び製品・サービスに対する需要の急激な変動
- ・ 産業界の需要動向
- ・ 原材料等の供給不足・供給価格の高騰
- ・ 急激な技術変化等による社会インフラの変動
- ・ 当社グループが他企業と提携・協調する事業の動向
- ・ 製品やサービスに関する何らかの欠陥・瑕疵等により費用負担が生じる可能性
- ・ 第三者の特許その他の知的財産権を使用する上での制約
- ・ 保有する投資有価証券等の資産の時価や繰延税金資産等の資産の評価、その他会計上の方針の変更
- ・ 地震等自然災害の発生、その他の事業活動に混乱を与えうる可能性のある要素

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	190	184
受取手形及び売掛金	8,738	3,840
工事未収入金	1,606	2,185
たな卸資産	466	437
繰延税金資産	458	261
預け金	18,474	19,991
その他	1,073	1,552
流動資産合計	31,009	28,453
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	568	554
工具、器具及び備品（純額）	1,891	2,007
リース資産（純額）	69	77
建設仮勘定	506	509
有形固定資産合計	3,036	3,148
無形固定資産		
ソフトウェア	760	781
リース資産	106	101
その他	135	140
無形固定資産合計	1,002	1,022
投資その他の資産		
投資有価証券	327	347
繰延税金資産	464	439
その他	1,124	1,155
貸倒引当金	△0	—
投資その他の資産合計	1,916	1,941
固定資産合計	5,955	6,113
資産合計	36,964	34,566



(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,182	1,579
未払法人税等	822	108
未払金	2,280	1,309
未払費用	208	1,166
未払消費税等	366	164
預り金	21	61
賞与引当金	786	454
役員賞与引当金	14	0
その他	246	524
流動負債合計	7,929	5,369
固定負債		
退職給付に係る負債	682	585
長期預り金	31	30
リース債務	124	123
固定負債合計	838	739
負債合計	8,768	6,108
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,040	1,040
資本剰余金	870	870
利益剰余金	26,988	27,144
自己株式	△0	△0
株主資本合計	28,897	29,054
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	95	108
為替換算調整勘定	—	0
退職給付に係る調整累計額	△797	△705
その他の包括利益累計額合計	△701	△596
純資産合計	28,196	28,458
負債純資産合計	36,964	34,566

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
売上高	8,102	9,305
システムサービス売上高	5,716	6,025
システムソリューション売上高	2,386	3,280
売上原価	6,739	7,658
システムサービス売上原価	4,712	4,898
システムソリューション売上原価	2,026	2,759
売上総利益	1,362	1,647
販売費及び一般管理費	819	890
営業利益	543	757
営業外収益		
受取利息	10	11
受取配当金	4	4
その他	1	3
営業外収益合計	15	19
営業外費用		
支払利息	1	1
為替差損	0	7
その他	0	1
営業外費用合計	1	10
経常利益	557	767
税金等調整前四半期純利益	557	767
法人税、住民税及び事業税	6	91
法人税等調整額	191	172
法人税等合計	198	263
四半期純利益	359	503
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	359	503
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5	13
為替換算調整勘定	—	0
退職給付に係る調整額	140	91
その他の包括利益合計	146	105
四半期包括利益	505	608
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	505	608
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループの事業は、情報サービス事業ならびにこれらの付帯業務の単一事業であります。  
したがって、開示対象となるセグメントはありませんので、記載を省略しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

4. その他

(1) 受注残高

	前連結会計年度末 (百万円)	当第1四半期 連結会計期間末 (百万円)	比較増減 (%)
システムサービス	710	704	△0.9
システムソリューション	3,445	3,586	4.1
合 計	4,156	4,290	3.2

(注) 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 販売実績

	前第1四半期 連結累計期間		当第1四半期 連結累計期間		売上高 比較増減 (%)
	売上高 (百万円)	構成比 (%)	売上高 (百万円)	構成比 (%)	
パナソニックグループ	6,370	78.6	7,400	79.5	16.2
一般市場	1,731	21.4	1,905	20.5	10.0
合 計	8,102	100.0	9,305	100.0	14.9

(注) 上記金額には、消費税等は含まれておりません。